

調查概要

1 調査の目的

この調査は、男女共同参画に関する市民の意識を把握し、武蔵野市の男女共同参画行政の企画・推進のための基礎資料を得ることを目的として実施した。

2 調査の設計

- (1) 調査地域 武蔵野市全域
- (2) 調査対象 武蔵野市在住の満20歳以上の男女個人
- (3) 対象者数 1,500人(女性750人、男性750人)
- (4) 抽出方法 等間隔無作為抽出法
- (5) 調査方法 郵送配布 - 郵送回収法(督促を兼ねた礼状ハガキ1回送付)
- (6) 調査期間 平成20年7月17日(調査票発送)～7月28日(返送締切)
- (7) 調査実施機関 株式会社生活構造研究所

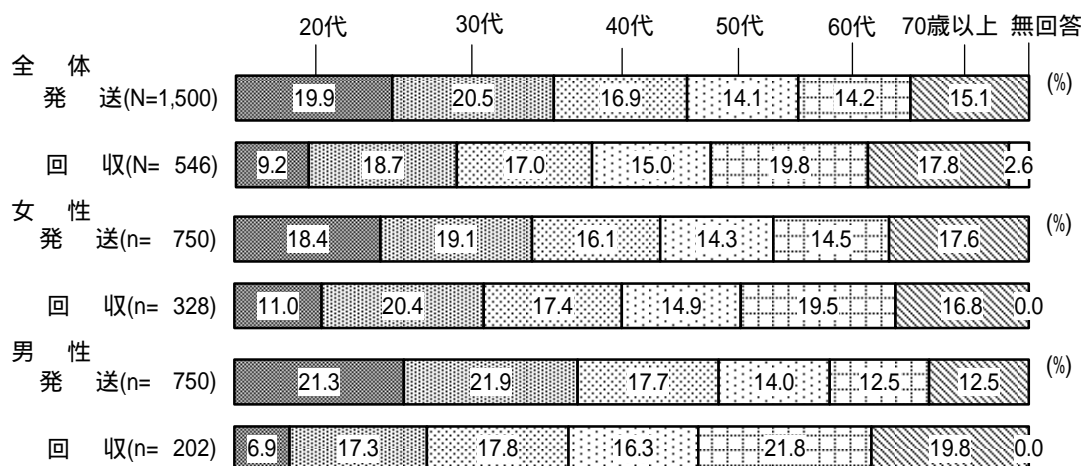
3 調査の内容

ブロック	質問項目	印は今回調査で追加した項目
家事・育児・介護	問1	理想の役割分担
	問2	現実の役割分担
	問3	男性が家事に参加していない理由
	問4	父親が子育てに参加することが少ない理由
	問5	父親が子育てに関わるために有効なこと
	問6	会員制の保育サービスの認知度
	問6-1	会員制の保育サービスの利用意向
	問7	介護の経験
仕事	問7-1	介護の不安
	問8	男女がともに介護を担っていくために必要なこと
	問9	収入のある仕事の有無
	問9-1	働く理由
	問10	職場の性差別の有無
	問10-1	職場での性差別を見聞きした経験
	問11	女性が仕事を続けていく場合の障害
	問12	正社員から非正社員への転換についての考え
社会参加	問13	再就職に役立つ援助や対策
	問14	ワーク・ライフ・バランスという言葉を知った経験
	問15	ワーク・ライフ・バランスのために必要なこと
	問16	現在力点を置いている活動、今後力点を置きたい活動
	問17	市の委員会や市議会等における女性の割合
	問18	新しい仕事づくりに対する意向
配偶者間の暴力	問18-1	新しい仕事づくりをやってみたい理由
	問18-2	新しい仕事としてやってみたいこと
	問18-3	新しい仕事づくりに必要な支援
	問19	配偶者間での行動で暴力にあたると思うこと
	問20	配偶者間での暴力について見聞きした経験
	問21	家庭や夫婦関係、生き方などの相談先
	問22	配偶者間での暴力の対策や防止のために必要な施策

ブロック	質問項目 印は今回調査で追加した項目	
男女平等	問 23	男女平等に対する関心度
	問 24	武蔵野市の施策や男女共同参画に関することがらの認知度
	問 25	男女平等の意識を育てるために学校教育で必要な取り組み
	問 26	男女共同参画社会を実現するために、市の施策として望むこと
	問 27	むさしのヒューマン・ネットワークセンターに期待すること
	問 28	自由回答
回答者のプロフィール	F 1	性別
	F 2	年齢
	F 3	未既婚
	F 3 - 1	夫婦の働き方
	F 4	家族形態
	F 5	未子の成長段階
	F 6	居住年数
F 7	職業	

4 回収結果

- (1) 対象者数 1,500人
- (2) 有効回収数 546人(女性:328人、男性:202人、性別無回答:16人)
- (3) 回収率 36.4%



5 この報告書のみかた

- (1) 回答は、それぞれの質問の回答者数を母数とした百分率(%)で示している。それぞれの質問の回答者数は、全体の場合はN、それ以外の場合にはnと表記している。
- (2) %は小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記している。したがって、回答の合計が必ずしも100%にならない場合がある。
- (3) 性別、年代別などは、無回答があるため、合計が全体とは一致しない。
- (4) 回答者が2つ以上回答することのできる質問(複数回答)については、%の合計は100%を超えることがある。
- (5) 本文及びグラフ中の設問文の選択肢の表現は一部省略されている。